



平成 26 年 11 月 13 日

各 位

会社名 東京コスモス電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 高橋 秀実  
 (コード番号 6772)  
 問合せ先責任者 執行役員 小野澤一実  
 (TEL 046-253-2111)

**たな卸資産評価損の計上及び第 2 四半期累計業績予想と実績値の差異  
 並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社グループは、平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）におきまして、たな卸資産評価損を売上原価に計上するとともに、最近の受注動向を踏まえ、製品在庫等の適正化を実施しました。この結果、平成 26 年 8 月 12 日に公表しました業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

また、最近の業績動向に鑑み、平成 26 年 8 月 12 日に公表しました平成 27 年 3 月期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値との差異  
 （平成 26 年 4 月 1 日～同 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回修正予想 (A)	3,650	100	140	100	6.37
今回発表実績 (B)	3,735	△38	2	△17	△1.09
増減額 (B-A)	85	△138	△138	△117	
増減率 (%)	2.3	—	△98.5	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	3,788	419	396	251	16.03

2. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,550	300	370	250	15.93
今回修正予想 (B)	7,550	120	170	100	6.32
増減額 (B-A)	0	△180	△200	△150	
増減率 (%)	0	△60.0	△54.1	△60.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	7,525	501	544	363	23.15

## 修正の理由

## (1) たな卸資産評価損の計上について

当社グループは、当第 2 四半期連結会計年度におきまして、たな卸資産の収益性の低下による簿価切下げにおける見積り方法を見直し、たな卸資産評価損として 90 百万円を売上原価に計上しました。

これは、第一に財務の健全性を高め、より強固な経営管理体制を確立するとの観点から、たな卸資産の管理体制の強化を図ってまいりましたが、これに伴い評価基準の見直しを行ったこと、第二に基幹システムのデータが蓄積されたことで、早期により正確なたな卸資産の評価に関するデータ収集が可能となったことにより実施したものであります。

## (2) 第 2 四半期（累計）連結業績予想数値との差異について

売上高は、車載用電装部品の生産調整が予想より早く終了したことや円安の影響などで予

想値を 85 百万円上回りました。しかしながら、前述のたな卸資産評価損を売上原価に計上したこと、また財務の健全性を高めるとの観点から、生産調整等を通じてたな卸資産を圧縮（たな卸資産評価損を除き前年連結会計年度末に比べ 155 百万円減少）により売上原価が増加し、営業利益は前回予想値を 138 百万円下回り、38 百万円の損失となりました。経常利益は 2 百万円となり、純利益も予想値を 117 百万円下回る 17 百万円の損失となりました。なお、評価損などの一時的要因を除く営業利益は約 130 百万円、経常利益は約 170 百万円であったと考えています。

(3) 通期の業績予想について

平成 27 年 3 月期の連結業績予想につきましては、売上高は今回公表しました予想値を維持できる見込ですが、利益につきましては第 2 四半期累計の下振れをカバーする見通しが不透明なため、平成 26 年 8 月 12 日付で公表いたしました通期の連結業績予想について修正いたします。

(注) 上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、経済状況や製品需要の変動、為替相場の変動などによって、本資料の予想とは大きく異なることがあります。あらかじめご理解下さい。

以上